



## 感染対策に則った陰部洗浄

おむつ内で排泄をされる方や入浴ができない方にとって、排泄物の影響によるスキントラブルや尿路感染を予防していくためには、本来皮膚が持っている機能を維持・向上させていくケアが必要になります。今号は陰部洗浄時に焦点を置き、確認ポイントと洗浄時のコツをご紹介します。

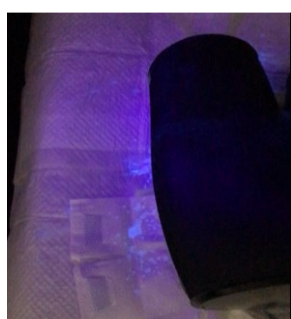
### 感染対策としてのポイント

#### ①洗浄剤の使用・洗いすぎには要注意

排泄物には尿路感染症の要因となる病原微生物が含まれており、洗浄剤の使用は逆行性感染の予防としても効果的です。ただし、高齢者の皮膚は加齢により皮脂の分泌が減少しているため、頻回な洗浄を行うことで乾燥を招いてしまったり、過剰な水分や湿気から皮膚が白くふやけて浸軟をおこすなど、スキントラブルをおこしやすくなりますので、洗浄は基本1日1回とします。洗浄剤は陰部に刺激の少ない弱酸性のものを選び、泡タイプのものは皮膚に摩擦が少なく洗浄出来るのでおすすめです。また洗浄後の清潔な状態でスキンケア（保湿・保護）も一緒に行い、排泄物の刺激から皮膚を守りましょう。

#### ③洗浄ボトルの取り扱い

陰部洗浄をおこなう際は、洗浄ボトルの持ち方や流し方にも気をつけましょう。排泄物を触った同じ手でボトルを持ってしまうとボトルの側面は不潔になります。清潔な物を触る手・不潔な物を触る手を意識するようにし手袋は適時交換するようにしましょう。お湯を陰部に勢いよくかけてしまうと、気づかないうちに洗浄ボトルや周囲の物品、介助者の腕やエプロンにも菌やウイルスが含まれた汚水が飛散します。陰部に近づけて使用するボトルは共用せず一人ずつ交換することが望ましいです。



#### NGな陰部洗浄



お湯の流し方による飛散状況をご覧ください。

### 陰部洗浄のコツ ～お湯の流れを操ろう～

洗い流しや拭き取りは前→後ろを基本とし、汚れや石鹸など洗い残しが無いよう1回につきボトル1本分のお湯を流すようにしましょう。

#### 【コツ①. お湯は、真上から流す】

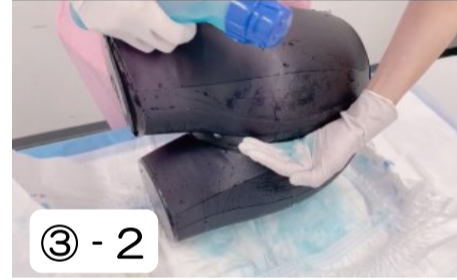
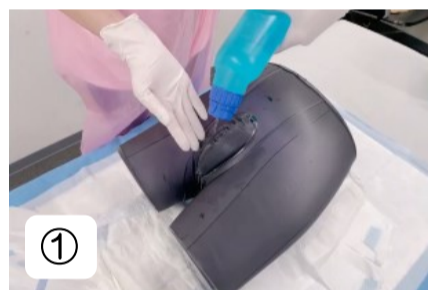
洗浄ボトルを陰部に近づけて斜めからお湯をかけるといろんな所に飛び散ってしまいます。下の写真①のように上からお湯を伝い流すと、飛び散らずにおむつやシートに上手く流れていきます。

#### 【コツ②. 臀部を洗う時は、お湯の終着点を意識する】

おむつやパッドは立体ギャザー内側がお湯を吸収します。お湯が流れ落ちる部分におむつやパッドを入れ込んでから洗浄を行いましょう。

#### 【コツ③-1, 2. 手のひらを活用する】

脚の間やお尻の割れ目など洗い流しにくい部分は、手のひらでお湯の流れを誘導したり、手のひらに溜めることで洗い流しやすくなります。



陰部洗浄は、目に見える汚れを落とすだけでなく感染対策も重要です。日頃のケアは十分な対策が取れているか、これを機に手技や物品の使用方法など確認・見直してみてください。

#### 石鹸を使った陰部洗浄



## オンラインセミナー報告

昨年度のオンラインセミナーでは排泄ケアを牽引するリーダーを育成することを目的としてワークショップ形式で一年間（計6回）開催いたしました。定員数を超える多くの施設様にご参加いただくことができ、またセミナー最終回では各施設様に排泄ケアへの取り組み成果報告をしていただき、その中から最優秀賞を熊本県山鹿市にある「特別養護老人ホーム 一本松荘」様に授与させていただきました。

一本松荘様では、「あて方の統一でもれを軽減し、利用者の不快感を減らしていく」ことを目標とし、排泄チェック表の活用、係からスタッフへの手技の指導、自己評価表による自身の得手不得手の見える化など様々なことを工夫しながら実施したそうです。その結果、部署にもよりますがもれが減少したことにより、紙パンツを使用していた方を布パンツへ変えてもいいかもしれないなど前向きな意見が出始めたため、セミナー終了後、4名の利用者様から取り組みをスタート。当初はもれが多

く難しさもありましたがトイレ誘導などを促進することで失禁が減少し、さらにスタッフの意識も高まったことで、現在は6名の利用者様が布パンツへ切替をすることができたそうです。

赤星様：セミナーに参加し取り組みを行うことで、利用者様とのかかわりをさらに深める必要があることを再認識することができました。利用者様の状態や、部署によって温度差があることが課題ですが、排泄委員会として排泄ケア向上に向けた発信を行っていきます。



一本松荘様、またご参加してくださった皆様、一年間お疲れ様でした。今年度も光洋オンラインセミナーを計画しております。開催が決まりましたらご案内させていただきます。

# 院内の「おむつ交換業務」を「排泄ケア」へ 医療法人茜会 よしみず病院様

山口県下関市にある脳神経筋センターよしみず病院様（以下よしみず病院）は、病院機能として、一般病棟・回復期リハビリテーション病棟、特殊疾患病棟、医療療養病棟、地域包括ケア病棟、障害者等一般病棟、介護医療院と、様々な分野がチーム医療として連携し、患者様のスムーズな在宅復帰を支えています。

看護部では昨年8月より、病院内の排泄ケアの向上を目的としてマイスター認定研修に取り組みました。

自薦・他薦は問わず、各病棟内から1～2名選出し、排泄ケアの知識力と技術力を高め、排泄ケアのプロとして活躍できる人材を約1年間かけて育成していく取組です。

今回5月20日に認定式を終え、早速活動を開始したマイスターの笠井課長と市倉主任にお話を伺いました。

## 一取組のきっかけは？

**笠井課長**（よしみず病院では師長は課長の名称）：今期の目標の中で、おむつのあて方の統一とIAD（失禁関連皮膚炎）の予防を上げていました。その中で、光洋のマイスター制度を提案され、始めてみようと思いました。

## 一研修はどうでしたか？

**笠井課長**：看護課長や看護スタッフ・介護スタッフなど、それぞれバラバラに集まった候補生たちで、最初は続けられるか不安もありました。でも皆で学んでいく中で関係性ができてきて、楽しく続けることができました。今まで接点がなかった人達とこうして交流できる機会が生まれたこともうれしいです。

**市倉主任**：おむつ交換や陰部洗浄・ポジショニングなど、今までなんとなく行っていたケアを根拠から学べたことがよかったです。皆が根拠をもってケアを行えば手技が統一出来ると思います。

【上段左から】  
吉村リーダー・岩坂リーダー  
上田リーダー・中村さん  
福田さん・服部さん  
【下段左から】  
岡本課長・小山看護部長  
笠井課長・河崎課長・市倉主任



## 今後のマイスターの取組について

**市倉主任**：今後の活動として、「ゴールシート※下記図」を作成し、それぞれ目標設定と現状の課題の洗い出し、アクションプランを記入してもらいました。今年度はそれを目標に取り組んでいく予定です。

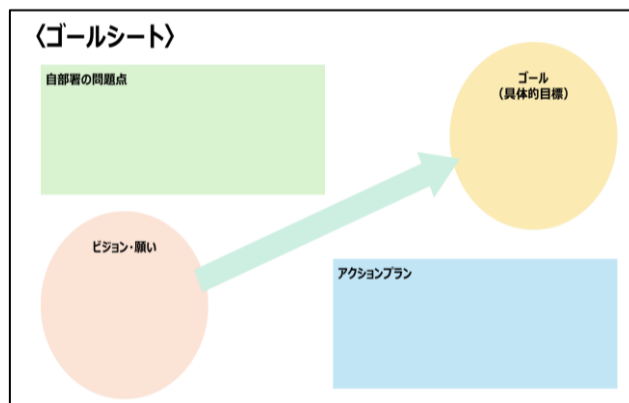
**笠井課長**：マイスターが各病棟をラウンドし、おむつ交換に立ち合いアドバイスを実施することも考えています。職員を集めたあて方研修なども今後行っていく予定です。

認定式に同席いただいた小山看護部長も、マイスターの取組には非常に期待を寄せているといいます。

「自分たちが自ら掲げた目標に向かって取り組んでいくことは非常に良いことだと思います。意欲的に進めていけるとと思います。」

すでに2期生の研修もスタートしたことに触れ、こう続けます。

「患者さんにとっても、職員にとっても良い排泄ケアを提供できるよう、頑張ってもらいたい。そしてこの活動を通じ、各部署の質の向上につなげていけたらと思っています。」



左から市倉主任・笠井課長



## マイスター取得おめでとうございます！！



- |  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| <p>総勢25名の方がマイスター認定となりました。皆さんのこれからの活躍を私たちコンシェルジュも全力で応援致します！</p> | <p>鹿間 栄子さん<br/>                 丹野 舞子さん<br/>                 土岐 清香さん<br/>                 丸茂 愛柔さん<br/>                 安藤 康子さん<br/>                 藤原 千江実さん<br/>                 櫻井 浩美さん<br/>                 大塚 理恵子さん<br/>                 廣田 葉子さん<br/>                 中村 幸枝さん<br/>                 岡本 瑞子さん<br/>                 道下 理香子さん<br/>                 栗山 玲子さん<br/>                 医療法人光陽会 関東病院</p> | <p>野本 幸子さん<br/>                 中村 真菜さん<br/>                 齊藤 奨さん<br/>                 小泉 賢己さん<br/>                 鈴木 啓司さん<br/>                 第17号取得 認定日 令和6年3月21日<br/>                 社会福祉法人孝慈会 特別養護老人ホーム 古千谷苑</p> | <p>保苅 和也さん<br/>                 矢能 茜さん<br/>                 阿部 真理さん<br/>                 第16号取得 認定日 令和6年3月15日<br/>                 医療法人社団晴和会 黒埼病院 黒埼病院介護医療院</p> | <p>江口 正樹さん<br/>                 天海 萌さん<br/>                 佐々木 明子さん<br/>                 第15号取得 認定日 令和6年2月14日<br/>                 社会福祉法人射水福祉会 特別養護老人ホーム 足立万葉苑</p> |
|--|---|---|---|---|

